

Topics ■トピックス [学内情報]

◎ 関西大学×大阪体育大学による合同シンポジウム
「大学スポーツとオリンピック・パラリンピックの精神」を開催

五輪の哲人・大島鎌吉の哲学に迫り、 スポーツの意義を問う

11月30日、関西大学と大阪体育大学は「五輪の哲人」と称される大島鎌吉氏が残した足跡を振り返りつつ、大学スポーツやスポーツの意義を考えるシンポジウム「大学スポーツとオリンピック・パラリンピックの精神」を千里山キャンパスにて開催した。

大島氏は関西大学在学中の1932年ロサンゼルスオリンピック陸上三段跳びで銅メダルを獲得。卒業後は毎日新聞社に入社し、戦時中は堪能なドイツ語力でベルリン特派員として活躍した。戦後は運動部記者の傍ら、後進の育成に尽力。64年の東京オリンピックでは日本選手団団長、選手強化対策本部長の重責を担い、大阪体育大学の創立などにも携わった。スポーツ思想をあらゆる媒体で表現し、「跳ぶ哲学者」とも称された大島氏。スポーツやオリンピックを通しての世界平和を提唱し、アジア初となる「オリンピック平和賞」を受賞するなど数々の業績を残している。

第1部の講演では、一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)専務理事の池田敦司氏が「大学スポーツの展望とUNIVASの役割」をテーマに、大学スポーツの可能性について言及。第2部の両大学の学生アスリートによる対談「大学生アスリートにとっての勉強とスポーツ」では、文武両道のための工夫や苦勞、競技から学んだことなどについて語った。第3部のパネルディスカッションでは、野球の赤星憲広氏、アーティストックススイミングの巽樹理氏、陸上競技の和田伸也氏ら3名のオリンピック・パラリンピック出場経験者が登壇し、それぞれの競技への思いやオリンピック・パラリンピックの精神の中で重要だと考えることなどについて活発な議論を展開した。



〈ロサンゼルス五輪 三段跳び3位の賞状〉



▲1932年のロサンゼルス五輪 三段跳び金銀銅メダリスト(右:大島氏)



〈第3部〉パネルディスカッション

同時開催 2019年度 関西大学 年史資料展示室 企画展「スポーツの人 五輪の哲人 大島鎌吉」

〈オリンピック功労賞〉



賞状



首飾り



ラベルピン

東京オリンピック・パラリンピックを来年に控えた今、大島氏が取り組んだオリンピズム(五輪精神)に根ざした青少年教育や平和活動の軌跡を改めて振り返り、スポーツと平和について考える企画展を開催している。

【期 間】：2019年10月1日～2020年3月14日
【場 所】：関西大学千里山キャンパス
簡文館(博物館)1階 年史資料展示室
【開館時間】：10:00～16:00
【休館日】：日曜・祝日・大学が定めた休日(詳細はお問い合わせください)
【入場料】：無料

◎ SDGsへアプローチする5つの企画「KU Library thinks SDGs」

図書館を通じたSDGs認知度アップ大作戦！



今秋より、関西大学図書館とKANDAI for SDGs推進プロジェクトが連携し、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成を支援する5つの企画「KU Library thinks SDGs」を実施している。

その一つとして、9月21日～2020年1月30日まで、企画展「わたしたちは世界を変えられる」を同図書館にて開催。SDGs達成のヒントとなる推薦図書を展示している。そのほかの企画として、10月21日～11月3日には紀伊國屋書店天王寺ミオ店でも同様の推薦図書やパネル展示及び学生によるトークイベント、経済学部・良永康平教授ゼミの学生によるプラスチックごみ削減への提案などを実施。さらに、国連広報センターによる資料ガイダンスを織り交ぜた講演会や、国連大学サステナビリティ研究所、地球環境パートナーシッププラザ、上智大学の協力によるパネル展示、地球温暖化防止に向けた取り組み「すいたクールアースウィーク」とのコラボレーションブース設置など、SDGsの認知度アップを狙うおのおののアプローチを展開した。

◎ 第42回関西大学統一学園祭を開催

あなたとつなぐ「LINK with U」



Kandai Dance Festival

2019年度の関西大学統一学園祭が、11月1日から4日まで、千里山キャンパスで開催された。今年のテーマは「LINK with U～つなげ関大愛～」。

令和最初の統一学園祭には、昨年の10万人を上回る約11万人が来場。サークルやゼミ等による200以上の模擬店やフリーマーケットをはじめ、研究発表やステージ企画、講演会等、さまざまなイベントや催しでにぎわいを見せたほか、1日にはインシュタインや祝園、さや香らがお笑いライブを披露。2日にはKANABOONによるライブイベント、4日には玉木宏さんによるトークショーも開催され、連日、学内は熱気に包まれた。さらに、統一企画構成委員会が運営する毎年恒例の目玉企画「関大お笑い王決定戦2019」「Kandai Dance Festival」「K.U.ROCK FEVER 17th」も行われ、観客も巻き込みながら圧巻のパフォーマンスが繰り広げられた。また、最終日の夕方には、悠久の庭で後夜祭が開催され、約2,000人が結集して感動のフィナーレを迎えた。



Food booth

